為替見通し

情報提供資料
2026年11月2日

マーケットの動き（2026年10月26日～10月30日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。
週半ばにかけては、日米の金融政策決定会合を控えて様子見姿勢が強まるなか、米ハイテク株の持ち直しや原油価格の高止まりなどを背景に円は売られました。その後は、日銀金融政策決定会合を受けて追加利上げ観測が高まったことなどから円買いが進み、米ドルは対円で上昇幅を縮めて週を終えました。
ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

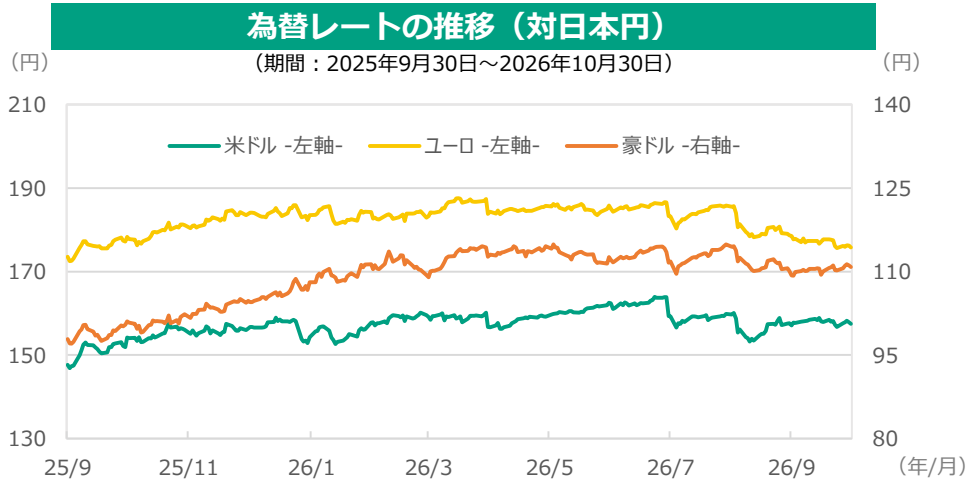
投資環境見通し（2026年10月）

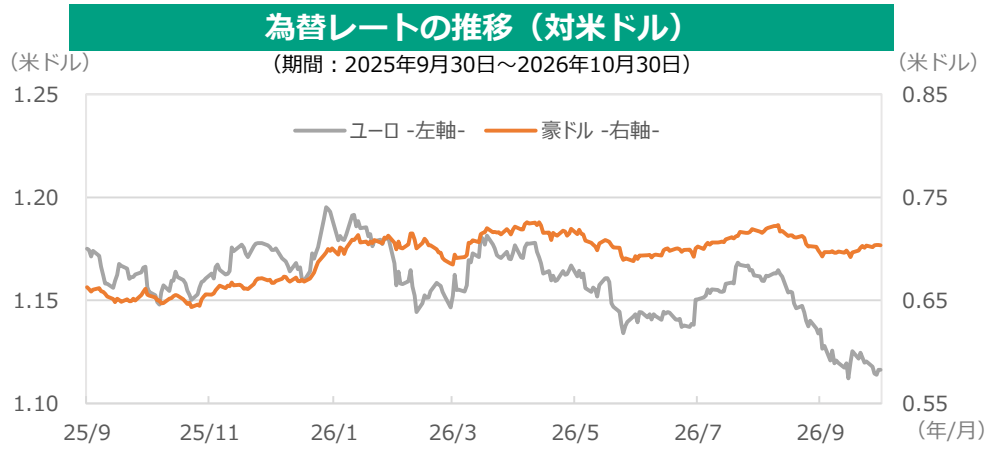
米ドル、ユーロはともに円に対してレンジ内での動き

米ドル、ユーロ：FRB（米国連邦準備制度理事会）、ECB（欧州中央銀行）、日銀の追加利上げの時期が注目される中、当面は日米通貨当局の円安阻止を目指す発言が意識されますが、日本の財政拡張政策は維持されるとみられることもあり、ドル、ユーロともに円に対してレンジ内での動きになるとみています。

	10月30日	変動幅（円）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	157.49	0.73	0.35	0.78	3.32
ユーロ/円	175.80	0.17	▲2.68	▲8.02	▲2.48

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日）までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202610_outlook.pdf





※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようにお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。https://www.myam.co.jp/market/report

明治安田アセットマネジメント

明治安田アセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第405号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会